

広
報

えちご上越

特集

第22回 通常総代会を開催
農業賞受賞者紹介

7

2023
(令和5年)
Vol.269



第22回通常総代会 開催

第7次中期3カ年計画の2年目 「みんなで拓く『農業』『地域』『組織』の未来」



第22回通常総代会を5月30日、上越文化会館で行いました。総代494人のうち449人（代理人・書面出席を含む）が出席。開会にあたり、経営管理委員会の笹原茂会長は、「営農分野では、常態化する異常気象下でも収量確保と品質向上の下支えとなるよう、土づくりに資材の購入費助成や高温耐性品種の普及に努めるとともに、稲作の基本技術の励行を推進する。また、上越地区JAの合併については、令和6年3月1日を合併目標日と定め、協議を行っている。組合員の皆さまに『信頼され、選ばれ、必要とされるJA』を目指し、合併実現に向けて更なる協議を進めていく』とあいさつしました。

議事では、滝沢記一さん（わかば地域）と伊藤善和さん（上越地域）を議長に選任。全8議案が原案通り可決承認されました。また、任期満了に伴う役員改選では、経営管理委員25人、監事3人が選任されました。

総代会 Q&A

会場で寄せられたご質問・

ご意見について紹介します。

Q 農家組合組織活動助成金が昨年と比較して減額となっているようだが、その理由を説明してほしい。

A 活動費の支払い基準については昨年と変わらないものの、農家組合の組織数減少と、これを構成する組合員戸数の減少によるものが減額の理由です。

Q 自己改革工程表について、地域の活性化の取り組みにかかる評価指標を「組合員の一人当たりの平均事業利用数」としていることについては疑問である。

A JAでは地域活性化に繋がる取り組みとして支店協同活動に力を入れています。正組合員だけでなく准組合員や地域住民にも参加いただき、JA事業への理解を深めてもらうことで、JAおよび地域農業の応援団になっていただきたいと思います。全国的な統計では支店協同活動が活発な地域は組合員の事業利用率も高いというデータもあることから当該指標を設定しました。



提出議案

第1号議案

令和4年度事業報告および税効果会計調整積立金規程の新設ならびに剰余金処分案の承認について

第2号議案

令和5年度事業計画の設定について

第3号議案

経営管理委員、理事および監事の報酬決定について

第4号議案

令和5年度の賦課金、賦課方法、徴収時期および徴収方法の決定について

第5号議案

役員を選任について

第6号議案

役員に対する退職慰労金の支給について

第7号議案

固定資産の取得について

第8号議案

定款および定款附属書総代選挙規程の変更について

Q

「多様な担い手の確保・育成にかかる施策で、農地集積円滑化支援はこれまでも掲げていたものであり、もう一つはマッチングアップによる労働力支援であるが、この2つの施策だけで良いのか。新たな農業者を増やさない限り、地域の活性化は実現しない。これはJAだけではなく、組合員も共有すべき課題であり、仲間づくりの意識をもっと持つべきである。もっと深い議論を重ね、組合員とともに対策を講じていく必要があるのではないか。」

A

資料に記載の施策は主なものであり、記載内容がすべてではなく、このほかにもさまざまな取り組みを進めており、必要により細かい対策も示しながらご意見を伺いたいと考えています。組合員を増やしていくことが重要であるという認識は共通しており、さらに、正組合員だけでなく准組合員や組合員外も含めた協同活動を進めていきます。



農業経営の改善や集団活動に意欲的に取り組み、顕著な業績を上げている経営体や集団を表彰する「JAえちご上越農業賞」。
ここでは、今年度受賞した個人・団体の取り組みをご紹介します。 ①設立・就農年 ②経営形態 ③取り組み内容 ④ひとこと

- ①平成21年就農
- ②個人(水稲・作業受託)
- ③名立区の海岸沿いから山間地までの広範囲で水稲栽培を行い、標高差を利用した栽培管理により、良品質な米を生産するとともに、水稲育苗の作業協力や農作業受託を行っている。JA活動では、JA名立地区青年部や水稲部会、農作業受託部会の役員を務め、地域活動では、名立認定農業者連絡協議会会長、農地利用最適化推進員として活動するなど、地域活性化に向けて大きな役割を果たしている。



<農業経営改善部門> 名立区平谷 松本 香さん

- ④名立区の「荒廃農地は出さない」という強い意志を持ちながら、経営規模の拡大を目指していきます。



<集団活動部門> 浦川原区顕聖寺 美女クラブ

- ①平成7年設立
- ②任意組織
- ③地域農業の発展と貢献、伝統食を守り続けることを目的に設立。地産地消とともに地域の食文化の伝承を図っている。JA浦川原物産館で毎週木曜日と日曜日の週2回開催している「おやきの日」では、製造過程が見学できるほか、対面販売を通じて、安全性のPRや認知度の向上、ファンの獲得など積極的に取り組んでいる。地域内外への情報発信強化により、遠方からの来客も増加している。

- ④地域の伝統的な食文化の継承を目指し、後継者の育成に取り組んでいきます。

第22回 JAえちご上越農業賞 受賞者紹介



<農業経営改善部門> 吉川区泉 中嶋 琢郎さん

- ①平成15年就農
- ②個人(水稲・作業受託)
- ③就農後、酒米産地としてのプライドを持ち、酒造好適米の栽培にこだわり、永田農法による水稲栽培も実践しながら、高品質・多収・良食味の米生産に取り組んでいる。水稲の土づくりでは、独自に籾殻堆肥の製造・散布を行い、品質・収量・食味の向上につなげている。また、水稲の新たな低コスト技術「高密度播種育苗」にいち早く挑戦し、成果を地域に共有するなど、地域農業に貢献している。

- ④今回の受賞で、もともとと思っていた「農業で地域の皆様に恩返ししたい」という気持ちがさらに強まり、今後はその強い思いを実践していきたいと思います。

※お配りした「第22回 JAえちご上越 農業賞受賞者の紹介」で中嶋様のお名前に誤りがございました。正しくは「中嶋琢郎」様です。お詫びして訂正いたします。

- ①平成22年設立
- ②農事組合法人(水稲・そば・園芸・育苗受託・作業受託)
- ③水稲栽培を中心に基本技術を忠実に実践して良食味・高品質な米を生産するほか、育苗受託や農作業受託を行っている。作業の効率化や土づくりの実践、構成員の指導にも力を入れており、集落ぐるみで次世代育成に取り組み、持続可能な集落営農の実現を目指している。水稲以外では、条件不利の山間圃場を活用し、そばの作付けやえだまめ栽培にも取り組み、園芸にも意欲的に取り組んでいる。



<農業経営改善部門> 板倉区山部 農事組合法人 箕冠ファーム

- ④法人のスローガンである「農地を守る。地域を守る」を胸に、今後も集落の維持・発展のため、みんなで協力して頑張っていきたいと思います。



新役員紹介

第22回通常総代会において、任期満了に伴う役員改選が行われ、経営管理委員25人、監事3人が選任されました。その後の経営管理委員会、理事会、監事会において、経営管理委員会会長をはじめ理事や常勤(代表)監事が選任されました。ここでは新しい役員を紹介します。



経営管理委員会
会長 羽深 真一

組合員の皆さまには、JA事業に特段のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る5月30日に開催しました第22回通常総代会ならびに経営管理委員会、理事会、監事会におきまして、任期満了に伴う役員改選が行われ、新しい役員が決定されました。今日の農業・JAを取り巻く環境は一段と厳しさを増しておりますが、地域農業の振興のため、役員一同全力を尽くす所存でございますので、格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスに端を発した世界的インフレが、国際紛争により加速することとなり、組合員の皆さまの生活はもとより、農産物の生産活動にも大きな影響を与えています。国内では、食料安全保障に関心が高まる一方で、資材高騰が農畜産物の価格に転嫁されず、農業経営を圧迫し続けるという、相反する状況が続いています。また、私たちの地域においても高齢化に伴う人手不足が深刻で、担い手農業者の確保が喫緊の課題となっております。

さまざまな課題が山積する中、JAでは自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を実現するため、「自己改革工程表」を策定し、その結果をお示ししながら実践を重ねて参ります。また、組合員の皆さまのご意見をいただく機会や日々の活動を通じて、自己改革に対する評価をお伺いしながら、正・准組合員、地域の皆さまとともに一体となったJA運営を実現して参ります。

上越地区JAの合併協議については、令和4年10月4日に合併協議会を発足し、令和6年3月1日を合併目標日と定め、具体的な協議を進めています。「信頼され、選ばれ、必要とされるJA」を目標に、組合員の皆さまに逐次協議内容をお示しし、ご理解いただけるよう努めてまいります。

令和5年度は、第7次中期3カ年計画の2年目であり、計画達成に向けた重要な年となります。基本姿勢である「みんなで拓く『農業』『地域』『組織』の未来」を全役員で認識し、地域が期待するJAの姿を組合員の皆さまと描きつつ、持続可能な経営基盤を確立させ、負託と信頼に応えられるJAを目指し、事業運営に取り組んで参ります。

今後とも力強いご支援とご理解、積極的なご参画を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

理事



常務理事
岩崎 健二



常務理事
永田 敬一郎



(代表理事)専務理事
高橋 一彦



(代表理事)理事長
山岸 雅行

期中人事異動のお知らせ(5月30日付発令、31日着任) 役職/氏名(旧部署名・役職名)

- 総務部 部長 笠鳥 健一 (宮農部・部長)
- 宮農部 部長 小関 勇一 (宮農部・次長兼地域ふれあい課長)
- 宮農部 次長 (農業対策課長兼務を解く) 山田 純 (宮農部・次長兼農業対策課長)
- 宮農部 農業対策課 課長兼地域ふれあい課長事務取扱 豊田 聡 (宮農部 農業対策課・課長補佐)
- 宮農部 農業対策課 課長補佐 丸田 哲也 (宮農部 農業対策課)





東條 明
総務金融委員会



尾崎 祐三
総務金融委員会



長井 幸夫
営農委員会 委員長



竹田 俊和
総務金融委員会



外立 正剛
生活委員会



関原 英精
生活委員会



三山 正志郎
生活委員会



松本 祐一
総務金融委員会



竹田 一久
生活委員会



丸山 勝善
営農委員会



小島 藤吉
営農委員会



大堀 幸子
営農委員会



笹川 肇
営農委員会



橋本 玲子
生活委員会



関川 貞行
生活委員会



飯田 英人
総務金融委員会 副委員長



吉越 春男
生活委員会 委員長



藤山 作次
総務金融委員会 委員長



笠原 行夫
総務金融委員会



五十嵐 隆一
営農委員会



峯村 弘
生活委員会 副委員長



員外監事
峰村 義和



監事
内山 幸栄



常勤(代表)監事
伊倉 勝

監事



高山 孝次
総務金融委員会



西山 学
営農委員会



古川 一広
営農委員会 副委員長



前経営管理委員会
会長 笹原 茂



前常務理事
高山 孝次
(経営管理委員に就任)

この度、5月30日の通常総代会をもちまして、えちご上越農業協同組合常勤役員を任期満了にて退任いたしました。任期中は、組合員の皆さまをはじめ、役員、関係機関の皆さま方から公私にわたる温かいご指導とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

任期中の農業・JAを取り巻く環境は、農業従事者の減少・高齢化、異常気象への対応など、慢性的な課題のほか、感染症禍による主食用米の消費減少や国際競争等による資材価格の高騰など、非常に厳しい状況が続くものとなりました。

JAえちご上越では、これらの状況に対応し、この先も組合員の営農と暮らしを支え続けるため、10年後の目指す姿として、自己改革目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を踏まえた長期ビジョン「みんなが喜ぶ実りある農業」、「みんなと一緒に元気な地域をつくる協同組合」、「みんなの期待に応え続ける力強い経営基盤」を設定して取り組んでまいりました。

また、自己改革の成果を確認するため、組合員との対話・意思反映運動を展開し、頂いた意見や要望、評価を組織・事業活動に反映することができました。最後になりましたが、組合員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

農福連携のその先へ



上越市丸山新田
ちあき
早津知祥さん(31)

収穫が始まったオクラハウスにて。



オクラの木を一本一本細部まで確認する早津さん。



ひと夏に38,000本収穫するという自慢のオクラ。

上越市丸山新田で園芸を行う早津知祥さん。学校卒業後、建設会社で働いていた早津さんは、8年前に母の薫さんが食品加工を中心とした障がい者就労継続支援施設『土の香工房』を始めたことをきっかけに転職。営業職として、施設利用者がつくった商品を販売店に売り込む仕事をしていました。その後「利用者が携われる仕事を広げたい」と、近隣農家で農業を学び5年前に就農。園芸に取り組み、施設利用者を積極的に雇用しながら、ハウスで夏はオクラ、冬はホウレンソウ、露地ではエダマメ、カリフラワーなどを栽培しています。

「農業は、自分で種を蒔いて育て、収穫、販売し、それが消費者の口に入るといふ過程を見ることが出来る面白さがあります」と話す早津さん。作物を栽培する一方、売る楽しさも知る早津さんは、施設で営業職として仕事をしていた経験が今の仕事の糧になっています。「売り先を決めてからつくり、加工をする」というサイクルを築き、販売に重きを置いた生産で、販売先・消費者を想定した農業に取り組みます。また、ビニールハウスを自分で建てるなど、建設業界に身を置いていた経験も生きています。

人手不足に悩む生産者が多い中で、施設利用者を労働力として確保できる強みを活かしながら、利用者にも農業を通して社会進出してもらいたいと考える早津さん。「もっと農地を広げ、利用者の皆さんの活躍の場を増やしていきたい」と話します。今後は『土の香工房』として農業に取り組み、利用者の皆さんと一緒に汗を流しながら、農福連携のさらに先、農福融合を目指していきます。

経営メモ	園芸 露地栽培	2畝(エダマメ、カリフラワー、キャベツ、大根)
	施設栽培	20畝(オクラ、ホウレンソウ)



予告

JAカード限定!

2023年9月・10月は

JA直売所のご利用が (あるるん畑・浦川原物産館)

15% おトク!

JA直売所 (JAカード5%割引実施店舗:あるるん畑・浦川原物産館) で、対象期間中にJAカードをご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当分*をポイント還元!いつもの5%割引と合わせて、15%相当おトクにご利用いただけます!

*還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。



いつもおトクな
JAカード特典!

JA直売所のご利用は
請求時

5%割引!

期間限定キャンペーン

JA直売所のご利用金額の

10%相当をポイント還元!

対象期間 2023年9月1日(金)~10月31日(火)

還元時期 2024年1月

対象期間中のJA直売所でのご利用金額合計の10%相当分を還元ポイント(4円で1ポイント)を計算します(小数点以下は切り捨て)。還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。

*ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。*還元金額はポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

役員会だより(主な協議事項)

第4回理事会(5月29日開催)

- ・「不良債権」の処理方針(新規および変更)について
- ・合併予備契約について
- ・会計監査人の報酬等の決定について
- ・団体の准組合員加入について
- ・余裕金運用規程の変更について
- ・固定資産の取得について

第4回経営管理委員会(5月30日開催)

- ・合併予備契約について

第5回経営管理委員会(5月30日開催)

- ・会長の選任について
- ・定款第32条第5項に定める職務代理順位、定款第55条第2項に定める経営管理委員会招集順位、経営管理委員会規程第8条第1項に定める経営管理委員会議長順位について

- ・委員会構成について
- ・理事・代表理事および理事長の選任について
- ・経営管理委員の報酬について
- ・役員賠償責任保険について
- ・退任経営管理委員に対する退職慰労金の支給について
- ・子会社の役員選任について

第5回理事会(5月30日開催)

- ・専務理事・常務理事の選任について
- ・定款第34条第5項に定める職務代理順位、定款第61条第2項に定める理事会招集順位ならびに理事会規程第8条に定める理事会議長順位について
- ・担当業務分担について
- ・理事の報酬について
- ・行政庁に提出する業務報告書について

目次

20	19	18	16	15	14	12	10	9	8	4	2
うんまいレシピ	おたより広場	クロスワードパズル	JAからのお知らせ	直売所通信	健康百科	営農情報	今月の話題	とれたて情報	F・I・A・C・E	農業賞 受賞者紹介	特集 第22回 通常総代会 開催

JAえちご上越の組合員

38,168人

(令和5年5月末現在)

正組合員 15,879人
准組合員 22,289人

●氏名・住所・電話番号・組合員資格に変更があった場合は、JAまでご連絡ください。



活気ある青年部活動の再開を確認

JA青年部 第10回通常総会



冒頭、あいさつをする小山さん。

JA青年部は6月16日、ホテルセンチュリーイカヤで第10回通常総会を行い、本部役員など33人が出席しました。

令和4年度の活動報告や令和5年度事業計画など4議案を協議し、全ての議案が可決承認されました。令和5年度は感染症下で停滞した活動の再開を中心に、活気ある青年部活動を行っていくことを確認。本部部长の小山竜満さんは「皆さまのおかげで青年部設立10周年を迎えることができました。今後も部員間で情報共有をはかりながら、地域貢献をしていきたい。」と話しました。

ブドウ栽培で水稲育苗ハウスのフル活用

ハウスブドウ現地研修会



指導員の作業を見つめる参加者。

JAでは、水稲育苗ハウスの有効活用法の一つとしてハウスブドウ栽培を提案しています。稲の育苗期間とブドウの生育期のずれを活かしたハウスの活用法として注目されています。

6月13日には、上五貫野の久保田農場の栽培ハウスで現地研修会を開催し、ハウスブドウ農家や関係機関、JA営農指導員など15人が参加しました。これから行う『房づくり』、『摘心』などを学んだほか、剪定作業や房の成形作業を実際に見ながら理解を深めました。

大自然の中で元気な体つくる

笹ヶ峰放牧場で放牧開始



放牧初日には畜産農家18戸から59頭が運ばれました。

妙高市の笹ヶ峰放牧場では、5月26日から乳牛や繁殖用和牛などの放牧が始まりました。今年は消雪が早く、例年よりも一週間程早いスタート。牛は10月の下牧までの約5ヶ月間、骨格の強化と体力づくり、畜産農家の労力軽減などを目的に、広大な牧場の中で放牧されます。

牛は4つの群れに分けられ、牧草の状況に応じて18の牧区を移動しながら成長していきます。管理道路の一部は遊歩道となっていて、伸び伸びと過ごす牛を見ることができますので、ぜひお出かけください。

相続トラブル回避のポイントを学ぶ

JAセレモニーサービス 終活セミナー



相続トラブルをどう回避するかを学ぶ参加者。

セレモニーサービス課は6月15日、有田支店で終活セミナーを行い、22人が参加しました。きたしろ相続相談センターから講師を招き、相続トラブルにならないためのポイントを学習。実際の事例を交えた分かりやすい説明で、話にうなづく参加者も多く見受けられました。

終活セミナーは7月20日に中央支店でも開催します。参加ご希望の方は中央支店またはJAセレモニーサービス(025-527-2077)へご連絡ください。



農業と福祉の連携で生産拡大に期待

ヨモギの試験栽培圃場で収穫



6月15日は、施設利用者のほか、同施設内に併設の通所介護施設利用者も調製作業を行いました。

JAでは、中山間地域の遊休地や耕作放棄地を利用し、ヨモギの生産拡大に向けた取り組みを行っています。

6月15日には板倉区久々野の柄山そば生産組合の圃場で収穫を行いました。今年度は収穫したヨモギを同区の板倉区就労継続支援事業所に持ち込み、収穫後のヨモギの乾燥・調製を委託。これまで課題となっていた収穫後の調製作業が改善されることで、更なる生産拡大が期待できます。JAに出荷されたヨモギは、モグサや地元企業で栄養ドリンクやお酒の「ジン」などに使用されます。



Point!

JAではそれぞれの生産環境に適した品目を提案し、農業生産の拡大と農業所得増大を目指しています。

異常気象に負けない米作りへ指導強化

えちご上越米の品質回復へ中干し現地指導会を開催



高品質米生産に向けて、生育状況を確認しました。

「えちご上越米」の品質向上と反収15kgアップを最重要課題とした、中干し現地指導会を6月1日から21日にかけて、管内の130を超える会場でを行いました。

6月13日には牧地区ライスセンター前で開催し、地元農家とともに現地圃場で「コシヒカリ」の草丈や茎数、葉数を数え生育状況を確認。早めの中干しと溝切りの重要性を強調したほか、稲の下位節間の伸長抑制で倒伏軽減を図るよう呼びかけました。参加者からは、中干し期間中の除草方法や、効果的な除草剤の使い方などについて質問が寄せられました。



Point!

JAでは各種指導会を開催し、気象変動に負けない稲づくりを目指しています。

草刈り作業の省力化と安全性の向上に期待

ラジコン草刈機等実演見学会



▲機械の説明を行うメーカー担当者。

◀急な斜面でラジコン草刈機の実演を行いました。

農業機械課は6月14日、上越市農政課と合同でラジコン草刈機等実演見学会を名立区のJA名立ライスセンターで開催しました。ラジコン草刈機の活用により、作業の省力化と安全性の向上が期待されています。

見学会には、生産者や行政関係者、JA職員など約70人が参集。機械メーカー4社が草刈機等の機能や特徴などについて説明したほか、圃場で実演を行いました。参加者は機械による草刈りの様子を動画で撮影をしたほか、使い方について質問をしていました。



YouTubeチャンネル
「上越市スマート農業プロジェクト」

これまでの実演会などの様子も見ることができます。実演会の様子は7月下旬に配信予定です。

栽培の楽しみ、地場産のおいしさを実感しよう

ちゃぐりん道場 スタート



「収穫が楽しみ！」と期待しながら定植を行いました。

JAでは、農作業や調理体験を通じて、地域農業や食べもの、自然の大切さを学ぶ親子参加型の体験教室「ちゃぐりん道場」を開催しています。

5月20日には今年度第1回の道場を行い、親子ら10人が参加しました。今回は、サツマイモの定植とポリ袋を使った災害食づくりに挑戦。定植体験では、JA営農指導員から植え方のポイントを聞きながら約100本の紅はるか苗を定植しました。

第2回は9月に今回定植したサツマイモの収穫体験を予定しています。



Point!

ちゃぐりん道場では、身近な農畜産物や地域農業をテーマに、食や農の大切さを伝えています。

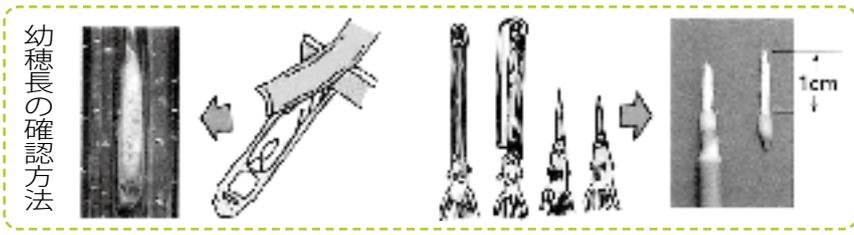


「高品質米生産コシヒカリスケール」で 適期適量の穂肥施用をしましょう！

コシヒカリの穂肥時期から出穂期、収穫期まで予想できる「後期生育ステージ早見盤」「適正穂肥早見盤」の使い方

品質向上と反収15^キアップを目指そう！
7月は穂肥！生育診断で穂肥時期と量を決めよう！

1. 幼穂長で出穂前日数を診断



出穂前日数(日)	幼穂長(センチ)
24	0.1
20	0.2
18	0.5~1.0
12	4.0~6.0

幼穂長と出穂前日数の関係(コシヒカリの場合)

幼穂の長さの測り方 幼穂形成期(幼穂長が0.1センチのころ)に生育診断

- 圃場内の平均的な生育の稲を2株程度選ぶ。
- 1つの株の中で1番長い茎とその次に長い茎を選び、株元から茎を引き抜いて幼穂長を確認する。

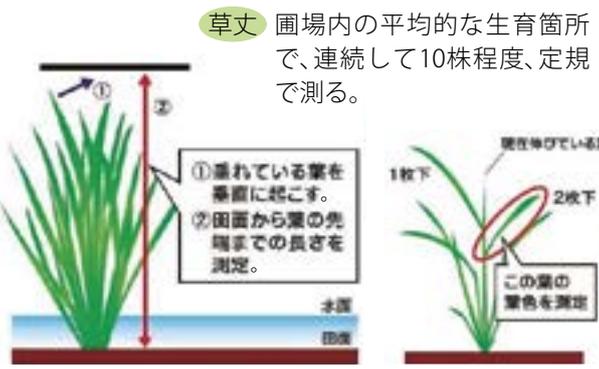
後期生育ステージ早見盤



⇒ (例) 平坦地の圃場で、7月9日に幼穂長0.1センチを確認。スケールの生育ステージ「ア、幼穂形成期」に「7月9日」を合わせると、1回目の穂肥施用時期は「7月15日」と表示される。

2. 草丈と葉色、茎数で穂肥施用時期と量を診断

幼穂形成期(幼穂長が0.1センチ、出穂前24日ころ)に草丈と葉色を測定



- 葉色**
- 平均的な生育の稲で最も長い茎を選ぶ。
 - その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ。
 - 葉色板から1センチ程度離して色を比較する。



適正穂肥早見盤



⇒ (例) スケールの円盤を回して、生育診断の結果に合わせて、矢印の下部に「A」と表示される。スケール右の「診断対応表」から、1回目の窒素施用量は1.5kg/10aだと分かる。

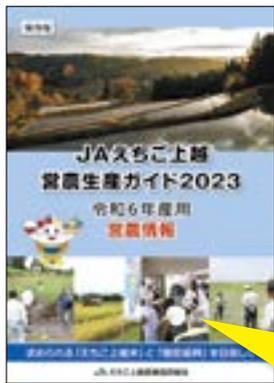
穂肥のポイント

- 高温時** 葉色が薄く出穂後の高温が予想される場合は、出穂3日前までに追肥を行う。
- ◎有機質50%以上の肥料は、2~3日程度施用時期を早める。
- ◎元肥一発肥料を施用していても、葉色が低下した場合は穂肥を行う。



生産拡大・コスト低減を目指して 営農生産ガイド2023

営農生産ガイド2023は、農業経営における総合的な情報を盛り込み、組合員の皆さまが通年で利用できる冊子として、より見やすさと使いやすさを追求し、「営農情報」と「予約申込書」の冊子に分けて作成しました。「営農情報」は身近な農業経営のガイドブックとしてご活用いただき、「予約申込書」にて令和6年産用農業資材の予約をお願いします。



背景が青色が
「営農情報」
赤色が
「予約申込書」
です



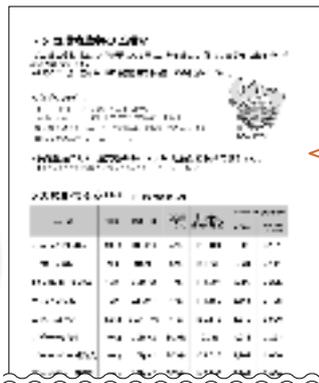
ガイドは
7月上旬までに配付予定。
各地区の説明会に
ご参加ください



商品写真を掲載し、より見やすい成分表に変更



生育に重要なリン酸、ケイ酸の不足している地域を色分けし支店別土壌土づくりマップとして掲載



大型規格の「メガ規格農業」を通常規格と価格比較をして紹介



農業の使い方、農業登録上の注意点について掲載

予約申込書は令和5年8月4日(金)までにご提出ください。



☀️ 農作業中の熱中症対策!!

農作業中の熱中症による死亡事故は近年増加傾向にあり、気温が高い7～8月に多く発生しています。農作業中は自覚症状がないのに熱中症にかかっている方が多くいます。特に高齢者の方は脱水しやすいため、こまめな水分・塩分補給や休憩を取ることが大切です。

手足がしびれる、冷たい

めまい、吐き気がする

ズキンズキンとする頭痛がある

汗をかかない、体が熱い

意識の障害がある

体がだるい

まっすぐに歩けない

熱中症が疑われる場合は

暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう。

☀️ 代表的な症状は左記の通りですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性にあります。

熱中症警戒アラートの活用(令和5年10月25日(水)まで実施)

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日または当日に都道府県ごとに発表されます。発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の対策を積極的にとりましょう。



夏バテ予防に おすすめの食べ物



栄養士
吉田理江

梅雨が明けて本格的な夏がやって来ます。暑い日が続く、だるさ、食欲不振など不調を感じる方も多いのではないのでしょうか。そうめん、アイスクリームなどの冷たいものばかり食べると栄養バランスが乱れ、夏バテがひどくなる可能性があります。今回は、夏バテ予防におすすめの食べ物を三つご紹介します。

【1】豚肉

豚肉に含まれるビタミンB1は、不足すると疲労物質の乳酸が体内に蓄積されます。タマネギ、ニラなどのネギ類に含まれるアリシンがビタミンB1の吸収を高めるため、豚肉と組み合わせると食べると良いでしょう。ビタミンB1は炭水化物に含まれる糖質をエネルギーに変えるために必要な栄養素です。エネルギーの代謝が活発になれば体の機能も高まります。刻んだニラとしょうゆなどをあえたたれを豚肉の冷しゃぶにかけると暑い日でも食べやすいです。

【2】梅干し

梅に含まれるクエン酸は、疲労物質の乳酸を分解し、新陳代謝を活発にする働きがあるため疲労回復効果が期待できます。また、唾液の分泌を促し食欲を増進させる働きもあるため、食欲がないときにおすすめです。梅干しと野菜をあえたり、おむすびの具にすると爽やかな酸味でさっぱりと食べられるでしょう。

【3】スパイス

ショウガ、唐辛子、カレー粉などのスパイスには、胃腸の働きを活発にし、食欲増進効果が期待できます。暑い夏は熱が体内にこもりやすいですが、唐辛子などの辛スパイスを食べると汗をかき、体内の熱を発散できるので夏バテ予防におすすめです。いつものメニューに少し加えるだけで、暑い日でも食べやすくなるでしょう。肉を炒めるときにカレー粉を加えると手軽にスパイスを取り入れられますよ。紹介した食べ物を日々の食事に取り入れて元気に夏を乗り切りたいですね。

知って得する信用・共済

お子さまのご進学をお考えの方にお知らせです！

JAえちご上越 教育ローン アドバンスプラン

実施中!

【取扱期間：令和6年4月30日まで】

プラン基準金利

年**1.60%**
(変動金利・保証料別途)

年**2.00%**
(変動金利・保証料込)

最優遇金利

年**1.00%**
(変動金利・保証料別途)

年**1.40%**
(変動金利・保証料込)

証書貸付型

カード型

※表示金利は、令和5年7月1日時点のものです。

最優遇金利の適用条件

当JAに給与受取口座を
ご指定いただける方
もしくは
当JAの住宅ローンを
ご利用中の方



【証書貸付型】

- 貸付期間：据置期間を含めて最長15年(在学期間+9年)以内
- ご融資金額：10万円以上1,000万円以内(1万円単位)

【カード型】

- 新規貸越可能期間：在学期間かつ65歳未満
- ご融資金額：10万円以上700万円以内(10万円単位)
- ※JAおよび指定の保証機関において所定の審査をさせていただきます。
- ※優遇金利の適用は、JA所定の条件を満たしていただく必要があります。
- ※金利情勢の変化により、金利水準の引上げを行う場合がございます。
- ※別途、年0.40%~1.50%の保証料をご負担いただきます。
- ※審査の結果、ご希望に沿えない場合もございますのでご了承ください。
- ※ローン商品の詳細については、ローン営業センターおよび融資取扱支店に説明書をご用意しているほか、返済額の試算も承っております。

【融資取扱支店】

中央支店・上越支店・三和支店・有田支店・浦川原支店・頸城支店・はまなす支店・新井支店・関山支店・本店融資課



上越あるん村 夏のスタミナフェア特集

7/22日 - 7/30日

夏にぴったりの地場産野菜やくびき和牛、国産うなぎなどがずらり！しっかり食べて暑い夏を乗り切りましょう！そのほかおすすめ商品やお得な情報は、店頭や上越あるん村のホームページ、SNSをチェック！



こちらも注目！

7/22日

なすまつりを開催します

さまざまな品種のなすの展示や試食販売をする予定です。地元の小学生が育てたなすの品評会も行います♪



今月のおすすめ

ちょこパン

もちもちのココア生地濃厚なチョコクリームがたっぷり。お子さまにもおすすめ！



▲160円(税込)



▲350円(税込)

レーズンロール(6個入)

じゃぱんの人気商品のテーブルロールにレーズンをたっぷり練りこみました！

バケツ稲通信

すくすく成長中！

あるん畑店舗入口



5月6日



6月6日

門前にこここども園



5月17日



6月13日

上越あるん村 より旬な情報をお届け！

各種SNSやっています！

あるん村公式LINE



Instagram



Facebook



ホームページ



<https://arunmura.jp/>

ハッシュタグは #上越あるん村 皆さまからのフォローお待ちしております！

お問い合わせ先 上越あるん村 (TEL:025-525-1183)

浦川原物産館

今月のおすすめ

地場産の夏野菜

地場産のとれたての夏野菜が続々入荷中！甘くてみずみずしいトマトがおすすめです♪



手造りこんにゃく

人気加工品の手造りこんにゃくです。こんにゃく芋を使用しているため、湯通しせずそのままでもおいしく食べられます。



お問い合わせ先 浦川原物産館 (TEL:025-599-2387)



令和6年春採用 JAえちご上越 職員募集(高卒)のお知らせ

■職種および採用人員

職種	業務内容	採用人数
総合職	事務・営業・施設業務	2名程度
	農業機械整備または自動車整備業務	1名程度

- 応募資格 令和6年3月 高等学校卒業見込者
- 応募受付期間 令和5年9月5日(火)～9月8日(金)
- 応募書類等 全国高等学校統一応募書類
(学校を通じご応募ください)

■採用試験

【1次試験】

日時：令和5年9月16日(土)午前9時～午後3時頃(予定)

会場：JAえちご上越本店(上越市藤巻5番30号)

試験内容：能力試験(言語・計数)、適性検査、面接試験

【2次試験】

日時：令和5年9月25日(月)午後(予定)

試験内容：役員による個別面接試験

※1次試験合格者に対し、別途連絡します。

詳細はJAえちご上越HPをご覧ください。

■お問い合わせ先

人事教育課(TEL:025-527-2001 採用担当)



JAマイカーサマーキャンペーン実施中

働く人たちが
選んだ軽トラ
JAハイゼット

期間中、**JAハイゼット**のご成約で
新潟県産農畜産物をもれなく
プレゼント!この機会に、ぜひお近くのJAカー
センターまでご相談ください。



●新開発したFR専用CVTの採用など、
安全・安心・便利機能が満載!

■キャンペーン期間 令和5年7月31日まで

■対象店舗・お問い合わせ先

カーセンター中央(上越市鴨島1196) TEL:025-525-6515

カーセンター北(吉川区原之町169-1) TEL:025-548-2202

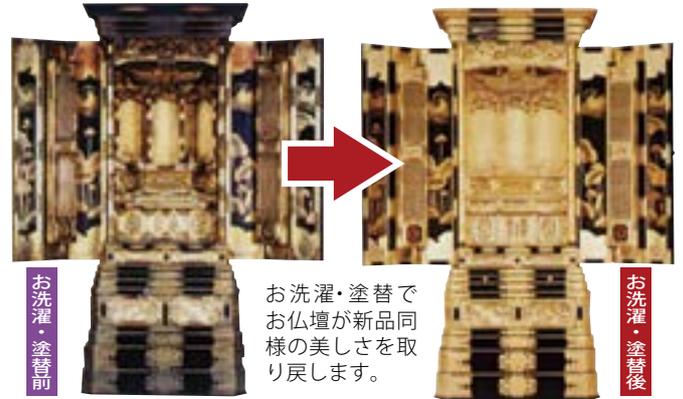
東自動車整備工場(板倉区針1385) TEL:0255-78-2337

南自動車整備工場(妙高市関山1190) TEL:0255-82-2112

お仏壇お洗濯、お墓リフォーム承ります

・お仏壇お洗濯

ご先祖様が求めた大切なお仏壇をお洗濯すれば家宝として次の世代へと伝えることができます。



お洗濯・塗替前

お洗濯・塗替で
お仏壇が新品同
様の美しさを取り
戻します。

お洗濯・塗替後

・お墓リフォーム

墓石のカケ修復も承っております。

■お問い合わせ先 JAセレモニーサービス TEL:025-527-2077

JAのガソリンスタンドで QR決済! 利用できます!

ご利用可能な決済サービス



※一部対象外店舗がございます。詳しくは最寄りのJA-SSにお問い合わせください。

給油所 QRコード決済導入キャンペーン

■開催期間 令和5年7月1日(土)～31日(月)

■キャンペーン内容 期間中QRコード決済利用者に対し、
燃料単価を▲2円引き。

■対象施設 管内すべての給油所(フル・セルフ)で利用で
きます。

カーセンター・整備工場 お盆休業のお知らせ

下記の整備工場につきまして

8月11日(金)～8月13日(日) 休業と
なります。

・カーセンター中央 ・カーセンター北 ・東自動車整備工場



組合員からの情報提供窓口設置について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農業協同組合法第35条の5および農業協同組合法施行規則第81条、ならびに監事会規則第15条にもとづき、経営管理委員および理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の経営管理委員および理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば、電話または封書にて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

えちご上越農業協同組合 監事会

連絡先：住所 〒943-0817 上越市藤巻5番30号
電話番号 025-527-2010
部署名 監査部
受付監事 常勤監事 伊倉 勝 宛

※お電話の場合は、月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時にお願いたします。
 ※当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・出張所・施設にて相談窓口を設置しておりますので、そちらへお申し出ください。
 ※ご好意による情報提供であっても、匿名による情報提供や誹謗・中傷に類する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

組合員届出事項の確認についてのお知らせ

当JAでは、組合員の皆さまの個人情報適正管理のため、以下の項目について確認させていただいております。変更などがある場合は、JAへ届出いただく必要があります。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④組合員資格(※)

※JAは、組合員を中心とした組織であり、組合員資格について大きく分けて、農業生産を行っている正組合員と、農業生産を行っていない准組合員に区別されます。

またJAでは、個人の方の農業生産の指標として、**①10a²以上**の農地を耕作すること、**②1年**のうち30日以上農業に従事することとし、これらの指標を満たす地区内に住所または耕作地などを有する者を正組合員としています。そのため、諸般の事情により農業生産の指標を満たされなくなった場合は、申し出により准組合員への資格変更が必要となります。つきましては、該当した場合には、最寄りの支店にご一報願います。

■お問い合わせ先

各支店・出張所または総務課(TEL:025-527-2001)

農業用廃プラスチック回収のお知らせ

農業用廃棄プラスチックなどについて、下記の通り回収を行いますのでご確認ください。

■回収日時と回収場所 **回収時間：午前9時～午後4時**

回収日	回収場所	住所	電話番号
8月19日 (土)	中央資材店舗	上越市藤巻5-26	025-527-2000
	頸北資材店舗	頸城区百間町1029	025-530-3120
	三和資材店舗	三和区野832	025-532-2315
	頸南資材店舗	妙高市高柳1-16-8	0255-72-6503

■回収品目と回収料金 育苗箱1枚・ほか1kg当たり(税込)

品目	農ポリ類	農ビ類	育苗箱	廃棄農薬	空容器	廃棄肥料	米紙袋
単価	44円	66円	19円	198円	214円	198円	37円

※農薬…水銀剤・PCB・PCP・BHCなどについては別料金となります。

■提出していただくもの

処理・運搬などの事務をJAに委託していただくため、**委任状の提出**をお願いします。各資材店舗の備え付け用紙に、「廃棄する方の住所・氏名・電話番号・廃棄量など」を記入し、押印していただきますので、必ず**印鑑**をご持参ください。

なお、廃棄する方が団体や法人の場合は、代表者名での記載・押印をお願いします。

梱包要領と注意事項

ビニール類 ハウスビニール 畦シート

- 1梱包20kg以内とし、また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ紐で梱包する。
- ハトメ・金具・ファスナーは取り外しておく。
- 水濡れ・泥付きのないようにする。

ポリエチレン類 ポリマルチ 農ポリ・肥料袋

- 1梱包20kg以内とし、また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ紐で梱包する。
- 水濡れ・泥付きのないようにする。

水稲育苗箱

- 1梱包10枚とする。
- ポリ紐で梱包する。

農業空容器・廃棄農薬

- 1梱包20kg以内とする。
- 農業空容器と廃棄農薬は別々に梱包してください。
- ダンボール箱や透明なビニール袋に詰めて梱包してください。

葬儀・法要は

年中無休 24時間対応

虹の会会員募集中 「会員の3大特典あり」

JAセレモニーサービス



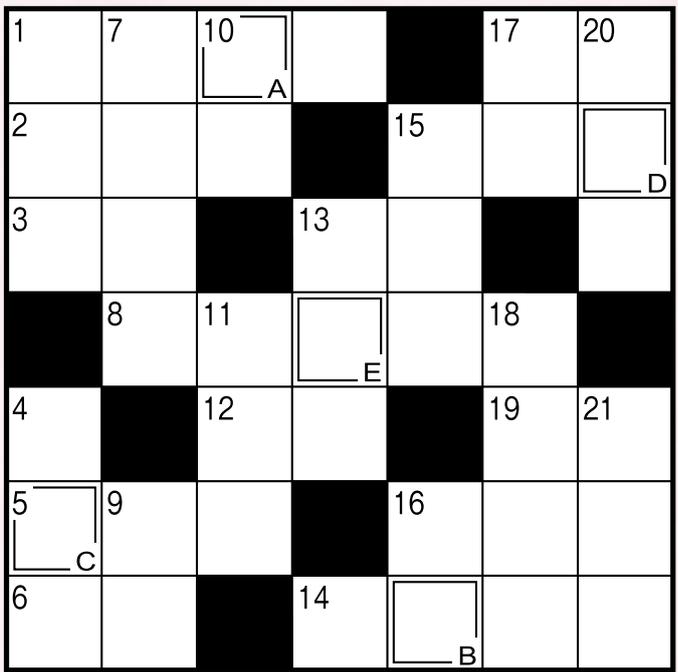
おすすめ カンタンWEB見積 ホームページはこちら

TEL 025-527-2077 フリーアクセス 0120-971-959

クロスワードパズル

出題:ニコリ

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

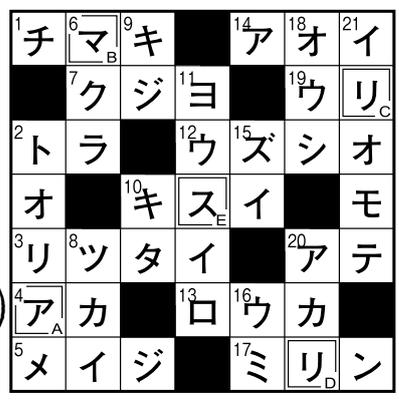
- ① 河島英五のヒット曲『酒と泪(なみだ)と』と『と女』
- ④ 長針、短針、秒針が付いているもの
- ⑦ 元素記号はLi。電池にも使用される金属です
- ⑨ 騎手が騎乗時に持つもの
- ⑩ 手首と肩の間にある関節
- ⑪ 本に挟みます
- ⑬ まだ夜が明けきららない頃のこと
- ⑮ 種から芽が出来ること
- ⑯ 虫よけのために寝床の周りにつるします
- ⑰ 定規を当てて引くことも
- ⑱ 高校球児たちが地方大会で——を繰り広げています
- ⑳ トップ——。ボトム
- ㉑ 駅の券売機で買います

ヨコのカギ

- ① 七夕伝説のヒロイン
- ② 青島幸男氏や石原慎太郎氏が務めました
- ③ 手のひらや足の裏の反対側
- ⑤ 蚊取り線香から立ち上るもの
- ⑥ ——を聞いて十を知る
- ⑧ ルーペともいいます
- ⑫ 兄弟姉妹の息子のこと
- ⑬ チョウが花を巡って吸うもの
- ⑭ テントを張ったりして野外活動を楽しみます
- ⑮ ——タオル、——ソープ、ゴッド——
- ⑯ 一時的に建てるもののこと。——住宅
- ⑰ アブラ、クマ、ミンミンといえは
- ⑲ 地球の衛星です

5月号の答え

答え
「アマリリス」



応募総数は
101通でした。



広報担当のつぶやき

我が子の部活動が最後の大会を迎えようとしています。この先は負ければ終わりの戦い。今のチームのメンバーで少しでも長く試合を続けられるよう勝ち進んでほしいですが、何よりも、悔いの残らないよう精一杯プレイしてほしいと思います。そして部活動や仲間との日々から学んだことを今後にかけてほしいと思います。(金・洋)

今月のプレゼント

尾西食品(株)

「カレーライスセット1袋(1食入り) & 携帯おにぎり(1ヶ)」セットを10名さま

尾西食品(株)のアルファ米を使用した、5年間の長期保存が可能なカレーライスセットと長期保存用携帯おにぎりを抽選でプレゼントします。お湯で15分、水なら60分できあがり!災害時の非常食やミニマムキャンプのほか、通常時に食べても良しの一品です。



おたより広場

今月のテーマ

暑い夏！

私の夏バテ回避料理はコレ！

暑い夏。冷蔵庫の野菜室から出してまるかじりする「トマト」。
最高！（浦川原区 N・Mさん）

自分でつくっている野菜をたっぷり入れた「夏野菜カレー」です！
（三和区 N・Kさん）

夏バテ回避は「うなぎ」です！他に「ベーコン」とトマトのみそ汁も私にとってはサイコーです。
（中郷区 T・Tさん）

「ナスとキュウリのみそ汁」です。
（三和区 S・Yさん）

「冷やし汁（冷汁・冷やし汁）」です。キュウリを主にして、ミョウガ、青ジソなど、いろいろな野菜を入れて、良く冷やして食べます。
（妙高市 O・Cさん）

苦いゴーヤと良質なたんぱく質（豚肉・豆腐・卵）を使った「ゴーヤチャンプル」です。夏、食欲がない時もこれなら食べられます。
（板倉区 S・Tさん）

さっぱりとした「酢の物」です。キュウリとタコ、ワカメ、春雨などを少し甘い酢で食べます。今年も夏バテしないように頑張るぞ〜！
（上越市 K・Mさん）

私は夏になると必ずお昼に「そうめん」を食べます。冷たくしたり、熱くしたりしています。また、ネギ・ミョウガ・梅干し・大葉・ユズなどいろいろな薬味を入れています。
（頸城区 A・Sさん）

暑い夏の季節。時々「冷やし中華」をつくって食べます。さっぱりしておいしいです。それと温かい煎茶です。
（妙高市 S・Mさん）

私は夏バテをしたことはありませんが、せんが、つくるとしたらクジラ汁をつくります。具はクジラ肉、キュウリ、ナス、玉ネギを入れてみそ味をつくります。とてもおいしいです。毎年3・4回つくります。
（板倉区 T・Tさん）

「ユウガオのスープ」です。みそ汁もおいしいです。シーチキンなどを入れて冷やしても、熱々でも暑さをしのぐのにもってこいです。
（上越市 N・Mさん）

畑でとれたトマト、キュウリ、ナスなどの野菜をツマミに、冷えたビール。これに限ります！
（上越市 M・Mさん）

夏バテ防止かは分かりませんが、夏の初めころから「辛味」、「酢」の使用量・回数ともに増しています。今年も元気に皆さんと夏を乗り切りたいと思います。
（中郷区 K・Yさん）

今月もたくさんのおたより、ありがとうございました。夏バテとは無縁の（金・洋）です。むしろ食べ過ぎないよう気を付けます（笑）。

次号のテーマ

大自然を満喫！

あなたは「山派」？「海派」？その理由は？

パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

テーマへのご意見や日々の出来事など何でもOK！絵手紙やイラスト、俳句などもお寄せください。応募された作品の返却はできませんので、ご了承ください。皆さまの投稿をお待ちしています。

※郵便料金の不足にご注意ください。通常はがきは63円です。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想、おたよりなど』を記入し、ハガキまたは封書にてご応募ください。正解者の中から抽選で、「カレーライスセット&携帯おにぎり」のセットを10名さまにプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ハガキまたは封書に基づく個人情報は賞品の発送、おたよりなどの掲載に利用します。

切手	〒943-0817	①パズルの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報誌の感想、おたよりなど
	上越市藤巻5番30号	
広報クイズ係	J A えちご上越	



7月のうんまいレシピ

広報
えちご上越
vol.269
2023年7月1日発行

今月の 料理当番

地域ふれあい課

(TEL:025-527-2030)

オクラと肉を「ほめられ黒酢」で炒めた夏ならではの一品です。トマトを入れると彩りもあざやかでおすすめ！オクラの代わりにこれから出回る夏野菜を炒めても◎。暑い夏でもさっぱりと食べられます。

肉とオクラの甘酢炒め

〈材料〉(2人前)

豚肩ロース(薄切り) ……200g
米粉 ……大さじ2
オクラ ……6~10本
ミニトマト ……4~6個
ほめられ黒酢 ……大さじ2
A オイスターソース ……小さじ2
鶏がらスープの素 ……小さじ1
ごま油 ……大さじ2

〈作り方〉

- 1 オクラは塩で板ずりをしてから水で洗い、ヘタとガクを取って斜め半分にする。ミニトマトはヘタを取る。
- 2 豚肉に米粉をまぶす。
- 3 ボウルにAを入れ混ぜ合わせる。
- 4 フライパンにごま油ををひき、中火で熱し2を焼く。
- 5 豚肉に火が通ったら1のオクラとミニトマトを入れて中火で炒める。
- 6 オクラに火が通ったらAを入れて炒め、全体に味がなじんだら完成。

オクラは色が変わりやすいので炒めすぎないように注意！

今月の食材



オクラ

アフリカ原産で暑さに強く、育てやすいことが特徴。独特のネバネバ成分を持ち、ビタミン類も豊富な夏野菜です。緑色が濃く鮮やかで、表面が産毛でびっしり覆われているもの、小ぶりで柔らかくて弾力があるものを選びましょう。

オクラは暖かいところでとれる野菜なので、5℃以下になると低温障害(一部が黒くなるなど)を起こすことが多く、注意が必要です。新聞紙に包んで冷暗所に置か、冷蔵庫の野菜室で保管し、早めに食べ切りましょう。炒め物などで使う場合は生のまま冷凍することもできます。